

WELLBEING

指導部通信

Date:2025.May.9 Vol.4

丸岡南中学校生徒指導部

文責：荒井啓臣

更衣・夏季の身なり・持ち物等について

5月1日(木)から衣替えの移行期間となっています。体調を崩さないよう、天候や気温・体調などに合わせた服装で登校しましょう。6月2日(月)からは衣替え完全実施となります。次の夏服規定を読んで、身なりを整えましょう。

＜夏服規定＞ ＊HPにも掲載されています。

1 衣替えと身なり

〔更衣移行期間〕5月1日(木)～31日(土)〔完全更衣〕6月2日(月)～

○白のカッターシャツまたは白色開襟シャツを着用する場合はノーネクタイもできます。

○学校指定のサマーセーラー服または白のブラウスを着用する場合はリボンを着用しよう。

○半袖は袖を肩の辺りまでめくったり、折り返しをしたりするのはやめよう。

○更衣移行期間のみ、長袖の折り返し(3回折る)はできます。

○白のカッターシャツまたは白色開襟シャツを着用する場合はノーネクタイもできます。

○学校指定のサマーセーラー服または白のブラウスを着用する場合はリボンを着用しよう。

※Tシャツ、タンクトップ等の肌着を着用しよう。肌着の色は派手でないものとし、無地(ワンプォイントは可)を身につけよう。

○校内では必ず名札を着用しよう。

2 飲料水

＜ペットボトル・水筒使用のきまり＞

○持参する水分は、お茶またはスポーツ飲料にしよう。スポーツ飲料は水筒に入れず、ペットボトルで持参しよう。飲み歩きはしないで、授業中は片付けておこう。必ず持ち帰りをしよう。ペットボトルはカバーに入れるかタオルで巻き、ボトルのままにするのはやめよう。登下校中は購入しないようにしよう。

○HBでは、各クラスの水筒入れ(ブルーのボックス)に置いておこう。

○部活動も考えて、多めに持ってきたり、他人のお茶をあてにしたりはやめよう。

3 汗の始末

○汗はタオルで拭くようにしよう。

○制汗スプレー・制汗剤(ウエットタイプのもの等)は無香料のものを使用しよう。決められた着替え場所やトイレで、着替えの時間のみ使用しよう。教室やHBでは使用することはないようにしよう。記名し、貸し借りはしないようにしよう。

○制汗シートは無香料のものを使用しよう。使用済みのシートは必ずゴミ箱に捨てよう。

○日焼け止めは無香料で肌の色が不自然に白くならないものを使用しよう。決められた着替え場所やトイレで、着替えの時間のみ使用しよう。教室やHBでは使用しないようにしよう。記名し、貸し借りはしないようにしよう。

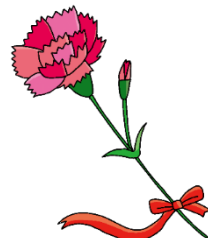
4 持ち物・身なり

○暑くても、制服のズボンをまくり上げず、正しく履こう。

○タオルを首に巻いたり、頭に掛けたりして使用しないようにしよう。

○外での活動には、積極的に帽子を着用しよう。(ネッククーラー等も使用することができます)

○丸岡南中学校の生徒として、「南中生活ガイドブック」を意識した行動しよう。



夢を追いかけること！

「女性パイロット“独学”11年、開いた航路」という記事が以前の読売新聞に掲載されていたので紹介します。



晴れ渡った日だった。横浜のランドマークタワーが真下に見える。前方に青い海が広がっている。自家用操縦士免許を持つ友人に、初めて乗せてもらった4人乗りの小型機。約1時間のフライトを終えた時には、すでに決心していた。「絶対にパイロットになるんだ。」小林郁子さんは、当時24歳。大学を卒業した後、映像編集スタジオに就職して1年目の秋だった。テレビやカラオケの映像制作の現場を走り回る生活に不満はなかったが、この日を境に、飛ぶこと以外は考えられなくなった。書店で「パイロットになる方法」が書かれた本を買い、そして知った。旅客機のパイロットを自社養成する大手の航空会社は、原則として採用を新卒者か自衛隊出身者に限っている。となると、パイロットに必要な資格を自分でそろえるしかない……。30歳を前に、初めて年齢のことが頭をかすめた。この時点で取得済みの資格は自家用操縦士免許だけ。ゴールまでの道のりが遠く感じた。「とにかく空を飛びたい。」 割安で事業用の免許が取れるヘリコプターの操縦士へと目標を切り替えた。そして再度の渡米。2年間で事業用ヘリの免許を取得した。「これで飛べる!!」 しかし、ヘリ操縦士にはなれなかった。32歳。警察や消防なども考えたが、年齢制限に引っかかって門前払いを食わされた。「操縦中にトイレに行きたくなったら、あなたどうするの?」と言われ、「女性」というもう一つのハードルの高さを実感したこともある。「年齢と性別は、努力ではどうにもならない。初めて落ち込みました。もうダメかも、なんて」 でも、自分は「飛びたい……。」もう一度、飛行機のパイロットを目指す以外に、残された道はなかった。再びアルバイトに明け暮れる生活で資金を貯めた末に、また米国に飛んだ。事業用操縦士など3つの免許を取得したのが34歳。最後に日本で半年間学校に通い、「計器飛行証明」という10個目の資格を取った。貯金がなくなり、代わりに、航空会社にパイロットとして就職するための資格がそろった。初めて小型機に乗った日から、11年が過ぎていた。面接では11年間の思いを伝え、その日のうちに採用が決まった。鳥取の米子空港を飛び立ったプロペラ機「フォッカー50」のcockpitで、小林さんは操縦かんを握っていた。全日空グループでは第1号の女性パイロットとして、この日が客を乗せての初飛行となった。中部国際空港に到着して地上に降り立った時、頭上には、パイロットになると決意した日と同じ青空が広がっていた。「夢を持つことは誰にでもできるけど、あきらめてしまう人と、あきらめない人がいる。」

屈託(くつたく)のない口調がすがすがしい。日本の旅客機パイロットで女性は非常に少なく、自費で資格を取った人も珍しい。「夢というのは1%でも可能性があれば、努力次第で実現するものです」 夢は、すぐに叶えられないときが多いものです。逆に、すぐに叶えられるようなものは夢ではないのかもしれませんが。本当は、あと一歩で成し遂げられるかもしれないのに、その直前であきらめてしまうことがあります。 私も経験がありますが、その当事者になると自分がどこにいるのかが見えず、それよりもやってもなかなか報われないことに不満を持ったり疲れたりしてしまいますよね。そして、あきらめることは「逃げる」ということがわかっていつつも、楽になりたいと思ってしまいがちです。そのようにならないためには、「決心」が必要だと思います。その決心が夢を実現させるために必要な「強い意志」と「継続的な努力」を生みます。 しかし、ただ頑(かたく)なに進んでいくだけではだめで、状況を判断して他の方法で試みることも必要だと思います。小林さんのように、ヘリコプターにトライしたのも、その一つでしょう。

1. どんな些細(ささい)なことでも一生懸命やることで、反省はするけど後悔しない
2. うまいかないことを人のせいにしない、言い訳しない
3. 挑戦するとき、できない理由を並べるより、どうしたらできるかを考え実行する
4. 今できないことは、これからずっとできないわけではない
5. 「できないこと」「ないこと」に不平・不満を言うのではなく、今「できること」「あること」を大切に感謝し、より良くしようとする

うまくいく人といかない人の差はこんなところにあるのではないのでしょうか。正直自分もできているかという、常にできているとは答えられません。しかし、心がけてはいます。日々心がけ、意識してこそ、自分の夢や願いは叶い、それは自分だけでなく、周りの人も幸せにすると思うからです。

あなたの実現しようとしている夢、追いかけている夢は何ですか？